

# ごあいさつ

皆さまには、慶應義塾大学理工学部電子工学科田邊フットニック構造研究室の育活動に、日頃より多大なご支援とご関心をお寄せ頂きまして感謝申し上げます。

近年研究の潮流はソフトウェア技術にあり、AI や機械学習等の研究開発の重要性が高まっています。当研究室が所属する学科も 2020 年 4 月から電気情報工学科と名前を変更し新たなスタートを切っております。学科としてはハードからソフトウェア技術までを垂直統合型に学ぶことの重要性を一つの柱としておりますが、我々の研究室では特にハードウェア技術に軸足を置いて光科学・光工学の研究を進めております。しかし、もちろん積極的に新しい技術を取り込み、2019 年度は機械学習等のソフトウェアの技術を活用したハードウェアの性能向上に関する研究にも積極的に取り組みました。



当研究室もダブルディグリーの修士学生を 2 名受け入れ、だいぶ国際色豊かとなってきました。これからも多様性に富んだ卒業生を社会に送り出せるよう、研究教育活動に邁進して参ります。今後とも、皆さまのご協力に深く感じいたします。

2019 年度に取り組んだ具体的な研究成果について報告いたします。本レポートは学生が主体となり、報告書を作成しておりますので、極力彼らの原文のままの掲載を心がけております。手作りの報告書となりますが、ぜひともご高覧頂きたく存じます。私どもの活動にご関心を持たれましたら、ご連絡いただけましたら幸いです。

2021 年 2 月

慶應義塾大学理工学部電気情報工学科  
教授 田邊孝純